

鉄道博物館新館 完成 7月5日 オープン

「実感」「体感」を柱に新たな展示品を導入

鉄道博物館 館長 宮城 利久



鉄道博物館の拡張リニューアルはJR東日本設立30周年、鉄道博物館開館10周年の記念事業としてJR東日本の全面協力のもと計画・遂行され、2016年より本館のリニューアルを順次行ってきました。本日7月5日の新館オープンにより、鉄道博物館の全館リニューアルが完成となります。この間、尽力くださった関係の皆様にお礼申し上げます。

拡張リニューアルの目的は、時代に合わせ、館の姿を刷新することにあります。展示室自体の拡張と新たな展示手法の導入を行い、展示の充実を図るとともに、レストランやショップの拡充や館内の案内の充実など、サービスの向上を併せて行うというものです。

展示については、「実感」「体感」をキーワードに、日本の鉄道の特性をより多くの様々な層の方々にわかりやすくお伝えすることを目指しました。既存の展示も併せて再構築し、仕事、未来、歴史、車両、科学といった5つの主要展示室「ステーション」を中心に、より深く、幅広く、わかりやすく鉄道の魅力と重要性をお伝えします。生まれ変わった鉄道博物館にぜひお越しください。

鉄道文化の継承と発展への貢献に期待

東日本旅客鉄道株式会社 上信越工事事務所

所長 高木 淳



2016年夏に暫工した鉄道博物館新館新築・本館改修他工事、無事竣工いたしました。本館では、キッズプラザ・科学ステーションを皮切りに順次リニューアルオープンしてまいりましたが、それと並行して新館新築工事を進めてまいりました。本館を営業しながらの工事でありましたが、工事に際しご理解、ご協力いただいた鉄道博物館をはじめとした関係者の方々及び博物館へ来館されたお客様や地域の方々、工事に携わられた多くの方々へ厚く御礼申し上げます。

新館のオープンにより、展示面積が1.3倍に拡大され、3つのステーション(展示ゾーン)と、レストランや屋上テラスが新設されます。本館リニューアルと合わせ、更に大きく魅力を増していくものと考えています。

新館オープンによりパワーアップした鉄道博物館が、鉄道の歴史やその技術を更に身近で、魅力的に感じてもらい、来館していただくお客様にますます愛されることにも、鉄道文化の継承と発展に貢献されることを祈念しております。

鉄道の「仕事」「歴史」を紐解き「未来」の鉄道を創造



設計コンセプト

鉄道博物館は鉄道に関する様々な知識がアーカイブされている場所であることから、外観は展示空間を無造作に積み重ねたようにすることで、知識や記憶の集積をアナログ的に表現しました。内部は黒を基調とした本館の車両ステーションに対し、新館は白を基調として、吹き抜け部に注ぐトップライトからの光の軸を中心とした空間構成としました。

2階で本館とつながる連絡通路は鉄やコンクリートといった鉄道に関する素材をあえて無骨なイメージのまま用いることで、鉄道の持つ力強さを表現しています。

新館1階は明るく空間の中で新幹線車両がショールームに展示されているような雰囲気にするために、窓からの在来線の風景と内部の展示の対比を感じられるようにしました。

2階の未来ステーションは未来を想起させるためより白を強調し、外部から展示の様子が見えるように窓を大きくし、外観上も突出した形態とすることでガラス箱の展示空間のように見せています。

一方、1、2階の仕事ステーションと3階の歴史ステーションは体験や展示を主体とするため黒を基調とし、4階のレストランは誰もが快適に過ごせるように気品のある落ち着いた茶系の素材・色を用いています。

また、各部の外装には疾駆する車両の流れのイメージをラインの組み合わせでパターン化してデザインに組み込むことで、新館全体の統一感を持たせました。

展示と共に空間の特徴も感じながら、鉄道博物館を永く楽しんでいただければと思います。

東日本旅客鉄道株式会社
上信越工事事務所
担当課(設備) 課長 飯野 直志

内外装に疾駆する車両のイメージを組み込み統一感創出



重厚な雰囲気の新館3階歴史ステーション

施工のポイント

鉄道博物館新館は在来線と新幹線に挟まれた敷地に建設された。営業線近接工事に当たるため、クレーン使用の際は列車見張員を配置。さらに、隣接する埼玉新都市交通と打ち合わせを重ね、搬入の時間設定を行い列車運行に支障のないよう配慮した。

苦心したのは搬入ヤードの確保。躯体が大きく、基礎工事の際は重機を寄せるスペースの確保が難しかった。そこで、工区を分け他の作業も同時に行い、基礎を奥から工区ごとに仕上げることで、限られた空間をうまく運用し、さらに工期短縮につなげていった。

部材の精度管理にも余念がない。鉄建設の中本建設所長は「鉄骨造の建物なので、鉄骨の収まりが悪ければすべての工程に影響が出てしまいます。精度管理には特にこだわり、一本一本、精度内に納まるよう確認しました。博物館や美術館は、複雑さを取り払ったシンプルなデザインのものも多く、些細なずれでも一目で分かるため、部材の取り合いにも十分注意しました」と話す。また、全面に採用されているガラスの手すりに、溶接作業時の火の粉が降りかからないようしながら作業したという。

竣工を迎えて中本所長は「博物館の工事を担当するのは初めてで、非常に良い経験になりました。ノウハウを今後の工事でも生かして行きたいと思っています。当建物が未来永劫残り、訪れる皆様の笑顔を作り出していくことを願っています」と語った。



新館1階仕事ステーションの吹き抜け空間にはE5系と400系が並ぶ



新館2階にはE5系シミュレータを新設した

限られた作業ヤードの活用工夫

■施工■ 鉄道博物館新館新築・本館改修他工事共同企業体

鉄建建設株式会社 関越支店

執行役員関越支店長 石丸和也
さいたま市大宮区桜木町 1-11-7 電話 048(647)6311

第一建設工業株式会社 東京支店

常務執行役員東京支店長 佐藤 優
東京都台東区東上野 1-7-15 電話 03(3833)7893

わたしたちが施工に携わりました。

■鉄道博物館南館電気設備新設他■

日本電設工業株式会社

常務執行役員 白井俊雄
営業統括本部長
東京都台東区池之端 1-2-11 電話 03(3822)9712

■安カー工事■

中央総業株式会社

東京都港区南青山 5-12-22 電話03(3797)4711

■サイン工事■

表示灯株式会社

東京都港区南青山 5-12-22 電話03(3797)4711

■内装・木・家具・木製建具工事■

株式会社 アーリス

栃木県宇都宮市砥上町 1663-13 電話028(647)3820

■金属・内装工事■

株式会社 クワザワ

千葉県若葉区桜木北 1-2-2 電話043(234)1011

■鋼骨・墨出し工事■

株式会社 ビル技研

千葉県野田市上花輪 1113-8 電話04(7125)1579

■防犯工事■

阿部産業株式会社

群馬県前橋市間原町 1-5-5 電話027(251)3115

■鉄道工事■

広栄工業株式会社 長野支店

長野県千曲市大字戸倉 2096-4 電話026(275)6311

■鋼骨・墨出し工事■

文化シャッター株式会社

東京都目黒区東横 3-9-7 電話048(658)1857

■クレーン・掘削工事■

株式会社 青木重起

栃木県小山市若木町 1-9-33 電話0285(231)1666

■解体工事■

いずみ産業株式会社

栃木県宇都宮市下平出町 198-2 電話028(664)1115

■解体工事■

株式会社 うつのみやの足場や

栃木県真岡市下野倉 3545 電話0285(60)7333

■解体工事■

株式会社 クワザワ

千葉県若葉区桜木北 1-2-2 電話043(234)1011

■解体工事■

株式会社 ビル技研

千葉県野田市上花輪 1113-8 電話04(7125)1579

■解体工事■

阿部産業株式会社

群馬県前橋市間原町 1-5-5 電話027(251)3115

■解体工事■

いずみ産業株式会社

栃木県宇都宮市下平出町 198-2 電話028(664)1115

■解体工事■

株式会社 うつのみやの足場や

栃木県真岡市下野倉 3545 電話0285(60)7333

■解体工事■

株式会社 クワザワ

千葉県若葉区桜木北 1-2-2 電話043(234)1011

■解体工事■

株式会社 ビル技研

千葉県野田市上花輪 1113-8 電話04(7125)1579

■解体工事■

阿部産業株式会社

群馬県前橋市間原町 1-5-5 電話027(251)3115

■解体工事■

いずみ産業株式会社

栃木県宇都宮市下平出町 198-2 電話028(664)1115

■解体工事■

株式会社 うつのみやの足場や

栃木県真岡市下野倉 3545 電話0285(60)7333